

地域医療構想研究会について

- 今年度より、地域医療構想調整会議における議論の支援や活性化を図るため、千葉県医師会の協力を得て「地域医療構想調整会議活性化事業」を実施することになりました。
- 本事業の取組の一つとして、各地域における議論の活性化に向けた意見交換を行う「千葉県地域医療構想研究会」を設置し、第1回研究会を本年1月11日(火)に開催しましたので、開催概要を報告します。

【問合わせ先】健康福祉政策課 地域医療構想推進室
電話番号：043-223-2457 メール：chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp

1

地域医療構想研究会 開催概要

- 1 開催日時
令和4年1月11日(火) 午後6時30分から(非公開)
- 2 構成員
【医師会】
千葉県医師会、12地区医師会
【病院団体】
日本病院会千葉県支部、千葉県民間病院協会、全国自治体病院協議会千葉県支部
【有識者】
地域医療構想アドバイザー(千葉大学医学部附属病院)、次世代医療構想センター(同)
- 3 目的
 - ・ 地域医療構想調整会議をより有効に機能させるための方策等について、議論する場として設置
 - ・ 議論を踏まえ、協議すべき課題や必要な取組等を整理し、地域医療構想調整会議に取り入れる
 - ・ 研究会を契機に、各地域で開催される地域医療構想調整会議の活性化に繋げる
- 4 発表内容
 - ・ 地域医療構想の推進について
 - ・ 今後の地域医療構想の活性化に向けて
 - ・ 新興感染症等の感染拡大の影響を見据えた医療提供体制に係るDPC調査

2

地域医療構想研究会における意見例

【地域医療構想の推進について】

- ・ 医療需要が増加し、医療の働き手が減少する中、サステナブルで質の高い医療を安定的、高生産性をもって提供しなければならない。そのためには、患者情報の共有はもちろん、医師や看護師等も地域の共有資源として有効活用しなければならない。

【新型コロナウイルス感染症について】

- ・ 昨年の第5波では、地域で500名ほどが入院できず、自宅療養した。そのような中、地域医療構想は再考しなければならないとの議論もあった。病床数について、一定程度の余裕が必要ではないか。
- ・ 医師や医療資源が分散していることで、コロナに対応する余裕を持てなかった。地域医療構想を推進し、医師や医療機能を集約することがパンデミック対策になりうる。

【今後の開催について】

- ・ 当研究会は、地域医療構想調整会議のガス抜き場となってはならない。定期的に開催してほしい。また、圏域を越えた地域課題の議論についてもこの場で実現していただきたい。

3

今後の地域医療構想研究会について

① 開催方法

令和4年度の地域医療構想研究会は、医療資源等の特性を踏まえ、病床の不足が見込まれる地域（千葉・東葛南部・東葛北部）と、既に充足していると見込まれる地域（印旛・香取海匝・山武長生夷隅・安房・君津・市原）に分けて開催する。

② 地域医療構想調整会議との連動

研究会の議論を踏まえ、地域で協議すべき課題、必要な取組等を整理し、地域医療構想調整会議に取り入れるよう努める。